

鳥取市議会予算審査特別委員会総務企画分科会会議録

会議年月日	令和4年2月25日（金曜日）		
開 会	午前11時39分	閉 会	午後3時38分
場 所	市役所本庁舎7階 全員協議会室		
出席分科員 (8名)	分科会長 吉野 恭介 副分科会長 伊藤 幾子 分科員 加嶋 辰史、石田憲太郎、星見 健蔵 横山 明、秋山 智博、砂田 典男		
欠席分科員	なし		
分科員外議員	なし		
事務局職員	主査兼議事係長 毛利 元 調査係主事 福田 佳菜		
出席説明員	<p>【企画推進部】</p> <p>企画推進部長 高橋 義幸 企画推進部経営統轄監 河井登志夫 次長兼政策企画課長 渡邊 大輔 政策企画課課長補佐 平田 政志 政策企画課地方創性・デジタル化推進室長 上田 貴洋 秘書課長 山根康子郎 秘書課広報室長 松本 縁 文化交流課長 福山 博俊 文化交流課課長補佐 小清水晃子 情報政策課長 山根 寿彦 情報政策課課長補佐 松田 仁史 情報政策課課長補佐 田渕 聡</p> <p>【市民生活部】</p> <p>市民生活部長 鹿田 哲生 次長兼地域振興課長 漆原 利明 協働推進課長 谷口 恭子 協働推進課参事 北村 貴子 協働推進課課長補佐 宮谷 卓志 市民総合相談課長 大島 義典 市民総合相談課課長補佐 金谷 幸一 市民課長 西垣 隆司 市民課課長補佐 中島 泉</p> <p>【環境局】</p> <p>廃棄物対策課長 上田 光徳 廃棄物対策課参事 高田 功 廃棄物対策課課長補佐 西澤 直也</p> <p>【総合支所】</p> <p>国府町総合支所長 湯谷 一也 国府町総合支所副支所長 前田 明博 福部町総合支所長 平戸伊寿美 福部町総合支所副支所長 角野 浩重 河原町総合支所長 九鬼 栄一 河原町総合支所副支所長 森田 誠一</p>		

	用瀬町総合支所長 片山 学	用瀬町総合支所副支所長 岡本 秀一
	佐治町総合支所長 西尾 彰仁	佐治町総合支所副支所長 徳永 努
	気高町総合支所長 三谷 裕之	気高町総合支所副支所長 久野 明男
	鹿野町総合支所長 岡本 幸子	鹿野町総合支所副支所長 岡田 実
	青谷町総合支所長 見生 孝行	青谷町総合支所副支所長 安達 典子
傍 聴 者	1人	
会議に付した事件	別紙のとおり	

予算審査特別委員会総務企画分科会に切替え 午前11時39分 開会

- ◆吉野恭介分科会長 それでは、これで総務企画委員会を終了して、予算審査特別委員会総務企画分科会を開催したいと思います。切替えをお願いいたします。

議案第5号令和4年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分（説明）

- ◆吉野恭介分科会長 はい。それでは、議案第5号令和4年度鳥取市一般会計予算のうち、本委員会の所管に属する部分について御説明を簡潔をお願いいたします。

○福山博俊文化交流課長 委員長。

- ◆吉野恭介分科会長 はい、福山課長。

○福山博俊文化交流課長 はい。文化交流課、福山です。それでは、ただいまから令和4年度当初予算、企画推進部関連の部分について説明をさせていただきます。資料は、資料ナンバー3になります、の2ページをお開きください。なお、説明については、歳入については100万円以上、それから、歳出については300万円以上を基本として説明をさせていただきます。なお、右端のほうに丸をつけております。この丸がついた部分を、説明をさせていただきますので、よろしく願いをいたします。

それでは、まず最初に、文化交流課関連です。使用料及び手数料の中の使用料、総務使用料、おもちゃ館使用料であります。予算額は112万5,000円です。これは、おもちゃ館の使用料となっておりますが、わらべ館の市営駐車場の料金収入であります。以上です。

- ◆吉野恭介分科会長 渡邊次長。

○渡邊大輔企画推進部次長兼政策企画課長 政策企画課、渡邊でございます。そうしましたら、その下の丸のところを御覧くださいませ。地方創生、失礼しました。国庫支出金、国庫補助金、総務費国庫補助金、総務費補助金、地方創生推進交付金でございます。六千三百八、6,833万5,000円の収入でございます。地方創生に資する事業で、創生総合戦略や地域再生計画に掲げている事業に充当される交付金でございます。充当率2分の1ということで、各部局、担当部局で事業実施されるもので、本課が取りまとめたものでございます。各担当課のほうで、事業は遂行されるということでございます。以上でございます。

○山根寿彦情報政策課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 山根課長。

○山根寿彦情報政策課長 はい。続きまして、その下の、同じく総務費補助金のその下で、デジタル基盤改革支援補助金といたしまして、1,082万9,000円を新規計上させていただいています。これは、令和4年度に、マイナポータル経由で受付した電子申請情報を、住民情報システムに取り込む仕組みを構築するための国からの補助金となっております。以上です。

○松本 縁秘書課広報室長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 松本室長。

○松本 縁秘書課広報室長 はい。秘書課広報室、松本です。続きまして、資料は3ページになります。中頃の03委託金、01総務費委託金、01総務費委託金のところになります。予算額は、全体予算額が554万5,000円でございます。内訳としまして、県政だよりと県議会だよりの配布業務の委託金として、県から受領するものです。内訳としましては、資料に記載してありますとおり、県政だより配布費としまして411万8,000円、県議会だより分としまして142万7,000円となっております。この委託金の収入は、後ほど歳出のところで御説明いたします、市報発刊配布費の財源に充当するものです。以上です。

○福山博俊文化交流課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 福山課長。

○福山博俊文化交流課長 はい。文化交流課、福山です。続きまして、その下の青い着色をしてあるところです。県支出金、県交付金、総務費交付金の中の市町村創生交付金であります。予算額は460万円です。これは、文化芸術団体が実施する文化芸術に関する事業に対する補助金などに該当、充当するものであります。以上です。

◆吉野恭介分科会長 山根課長。

○山根寿彦情報政策課長 続きまして、資料4ページのほうへお進みください。4ページの雑入でございます。雑入の説明資料、色が着いているところのになります。まずは、東部広域、東部広域電算事務負担金といたしまして、522万1,000円を計上しております。これは、文書管理とか財務会計、それとか休暇とかの管理を行う庶務事務システムを、東部広域行政管理組合と共同利用を行っております、その応分負担をいただいております。令和4年度が増額している要因でございますけれども、これは、現在使用している、各職員のパソコンで使用しているブラウザというがありまして、今インターネットエクスプローラーっていうのを使っておるんですけども、こちらが提供終了されるということがございまして、新しいブラウザへの対応費用というものが一時的に発生しておりますので、それに伴う負担が増加しているものでございます。

次に、1つ飛ばしまして、その他雑入（CATV設備使用料等）といたしまして、7,693万5,000円を計上しております。これは、本市が所有するケーブルテレビ施設の使用料といたしまして、主に、日本海ケーブルネットワークと鳥取テレピアの2社のケーブル局から使用料として頂いているものでございます。

続きまして、その下の各種雑入（コミュニティFM中継局設備使用料）といたしまして、44万7,000円を計上しております。これは、本市が令和2年度に建設いたしましたFMラジオ中

継局の使用料といたしまして、FM鳥取から頂く、頂いているものとなります。はい。以上です。

○福山博俊文化交流課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 福山課長。

○福山博俊文化交流課長 はい。文化交流課、福山です。続きまして、その下のほうの青い着色をしてあるところです。市債の中の総務債、総務管理債であります。予算、予算額は1,590万円です。これは、わらべ館の修繕に起債を充当することによるものであります。

続きまして、その下です。同じく総務管理債として、2,710万円を計上しております。これは、学習・交流センター修繕費に起債を充当することによるものであります。以上です。

◆吉野恭介分科会長 山根課長。

○山根寿彦情報政策課長 はい。続きまして、同じく市債で、有線テレビジョン放送施設事業債を2億3,350万円の計上、そして、1つ飛ばしました、その下の過疎対策事業債に2億1,600万円の計上をさせていただいております。これは、令和2年度から進めております超高速情報通信基盤整備事業の令和4年度事業分の財源として計上させていただいております。この後、歳出のほうで、詳しくは説明をさせていただきたいと思っております。

以上で、令和4年度当初予算歳入の説明は、以上でございます。

○山根康子郎秘書課長 はい。

◆吉野恭介分科会長 山根課長。

○山根康子郎秘書課長 はい。秘書課、山根でございます。そうしましたら、資料のその下でございます。5ページを御覧ください。歳出でございます。中ほどになりますが、予算書は165ページ。総務費、総務管理費、一般管理費、全国市長会関係費の（鳥取県市長会負担金）426万3,000円でございます。これは、鳥取県市長会の令和4年度の会費でございます。この会費の算定につきましては、その50%は、4市によります均等割で算出されておまして、残る50%は、人口割により算出されております。それで、各市それぞれの鳥取県市長会の会費となっているものでございます。以上です。

○松本 縁秘書課広報室長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、松本室長。

○松本 縁秘書課広報室長 はい。秘書課広報室、松本です。続きまして、資料はその下、1つ下、2つ下ですね、はい、の文書広報費、03文書広報費、01広報紙発刊配布費になります。予算額は、6,347万9,000円です。これは、市報及び支所だよりの発刊に係る費用となります。財源の国・県支出金は、先ほど歳入で説明いたしました県からの委託金となります。予算ですが、令和3年度に対しまして、令和4年度が減額となっております。これは、市報と支所だよりの掲載情報の重複ですとか、市域一体的な広報紙として、広報紙を見直したことによるものです。具体的には、支所だよりに掲載していた情報の一部を、市報の、市報のほうに掲載箇所を変更したことによりまして、支所だよりのページの数を2ページから、2ページを、A4両面2ページ、全部の4ページから2ページに削減したものと、あと、市報のカラーページを削減したことによるものです。これまで市報のほうは、全32ページをカラーページとして、仕様

としていて作成しておりましたが、ほぼ2色刷りで作成していたページがありましたので、実態に合わせて、32ページのうち半分、16ページを2色刷りの仕様に変更して、予算を計上しておるものです。金額としましては、市報の見直しで約300万円、支所だよりの見直しで約100万円ほど減額になっております。

続きまして、次の行、02 市政広報費でございます。予算額5,394万5,000円です。これは、ケーブルテレビやFM鳥取でのラジオ放送など、新聞や民放テレビなどの各種メディアを通じて、広域的に市政情報を提供するための経費となります。その他財源は、鳥取駅地下道を使用して広告を行う業者からの広告料となっております。

続きまして、6ページにお進みください。上から3行目の（鳥取市知名度アップ大作戦事業費）です。予算額は1,775万5,000円、財源は、財源のその他は、ふるさと納税基金繰入金となります。新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、地方で暮らすことや働くことへの関心が高まっておりますので、こういったことを考えながら、また、そういったアフターコロナを見据えまして、首都圏において、本市での新たなライフスタイルが提案できるようなシテイプロモーションを実施していこうと考えておりまして、そういうことに要する経費となっております。説明は以上です。

○渡邊大輔企画推進部次長兼政策企画課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 渡邊次長。

○渡邊大輔企画推進部次長兼政策企画課長 はい。そうしましたら、次の青い欄を御覧くださいませ。07 社会保障税番号制度運営費でございます。事業別概要は50ページ上段でございます。マイナポイント事業費七三十、失礼しました。753万9,000円の計上をさせていただいております。マイナポイント事業第2弾ということで、そちらを実施させていただくことに要する経費でございます。この事業は、マイナンバーカードを新規取得した方に5,000ポイント、それから、健康保険証としての利用登録を行った方に7,500ポイント、それから、公金の受け取り口座の登録を行った方に7,500ポイントということで、ポイントがそれぞれ付与されます。そのための、住民の方の鳥取市役所での窓口対応ということで行うこととしておりまして、現在本庁舎でおきましては、2階の西側にブースを設置して対応しております。こういったことに係る会計年度任用職員3名の人件費、それからパソコンのリース代、広報用のチラシの作成、そういったものに係る経費でございます。

続きまして、次の青いところを御覧くださいませ。企画費、総合企画費、（若者定住促進事業費）でございます。事業別概要50ページの下段、946万1,000円の計上をさせていただきたいと思っております。これは、麒麟のまち婚活サポートセンター事業を委託しまして、民間の活力を借りながら、麒麟のまち圏域に若者の定住を図るという事業を実施するものでございます。麒麟のまち婚活サポートセンターでは、大体月2回以上の婚活イベントの開催でありますとか、会員のスキルアップのためのセミナーの開催でありますとか、婚活イベントの開催、失礼しました、そういったものに取り組みながら、若者の出会いの創出を始めまして、婚姻に至るまで、そういったサポートをいたしております。令和4年度につきましては、成婚率アップのためということで、カップルのフォローとしまして、カップルになった方、そういった方を対象にし

たイベントということで、交際への発展でありますとか、成婚率高めていくということを考えておるところでございます。また、令和4年度は、引き続き、婚姻数やイベント実施数に応じた委託料にインセンティブを設けております。受託した業者には、出会いから成婚までの今まで以上のしっかりとしたサポート、そういったものを期待しておるところでございます。

おはぐりいただきまして、次のページでございます。7ページ、御覧くださいませ。丸はちよつとついておりませんが、一番上の（麒麟のまち創生推進事業費）、こちらも少し御説明をさせていただきたいと思っております。麒麟のまち創生推進事業費でございます。事業別概要51ページ下段ということで、294万7,000円を計上させていただいております。平成30年度より、1市6町で形成しております連携中枢都市圏、麒麟のまち圏域、そちらにおきましては、全圏一体となり、地域の持続的発展を目指して、90事業、連携90事業をはじめとしまして、様々な取組を行っております。この事業におきましては、首長会議でありますとか、連携中枢都市圏ビジョン懇談会、そういったものを開催して、事業の取組の進捗などを管理しておるところでございます。令和4年度におきましては、本年度実施しておりますが、多様な広域連携推進事業、そういったもので様々な調査をしております。その調査結果を下に、令和5年度を始期とします新たなビジョンを作成をしております。そのほかにも、1市6町が協力して、エリアプロモーションに取り組んでおりますが、そういったことも継続しまして、圏域全体の連携の深化というものを図っていきたいと考えておるところでございます。

続きまして、次の、次は青い欄でございます。02 東部広域行政管理組合運営費等負担金等というところでございます。（東部広域行政管理組合負担金）6,229万9,000円の計上をさせていただいております。御存じのことかとは思いますが、東部広域行政管理組合は、市町村が行う事務を共同して行うための一部事務組合として、昭和40年に発足しております。構成団体は、本市、鳥取市と、岩美町・智頭町・若桜町・八頭町の1市4町ということでございます。東部広域が行う事業は、介護認定審査でありますとか、火葬場の運営、それから可燃物処理・不燃物処理、し尿処理、それに消防、そういったもの多数ございますが、政策企画課負担分は、こういった事業を取り除いた組合の法人格を維持するための運営費でありまして、議会費でありますとか一般管理費、そういったものが政策企画課の負担分になるというところでございます。以上でございます。

○福山博俊文化交流課長 委員長。どうもすみません。

◆吉野恭介分科会長 はい、山根課長。

○山根寿彦情報政策課長 はい。続きまして、その下の地域情報化推進費でございます。情報化推進費といたしまして、2,392万円を計上しております。この費用は、市立小・中学校、それとか地区公民館をはじめとする市の公共施設のインターネット接続環境や公衆無線LANの通信費、それとプロバイダー費用などの各種情報通信基盤システムの運営と管理に係る経費を計上させていただいております。令和4年度の増加要因といたしましては、地区公民館、これ旧市の地区公民館になりますけれども、こちらの回線の増速、それと、あと、小・中学校のインターネット回線の増速といったもの、それと、あと、この庁舎の多目的棟にライブ中継用の機器というのを、このたびリモート環境で整備いたしました、その保守費用が新たに加わっ

たというところから増額になったものでございます。以上です。

○福山博俊文化交流課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 福山課長。

○福山博俊文化交流課長 はい。文化交流課、福山です。失礼いたしました。続きまして、その下の青い部分です。総務費の中の総務管理費の中の企画費の中の鳥取世界おもちゃ館運営委託費等の中の（鳥取世界おもちゃ館施設管理費）であります。予算額は9,400万7,000円です。これは、わらべ館の管理運営、これは指定管理ですが、指定管理料ですね、それと修繕に要する経費、これに充てる予算となっております。

それから、その下であります。同じく企画費の中の鳥取世界おもちゃ館駐車場運営委託費等の中の（鳥取世界おもちゃ館駐車場管理運営費）であります。予算額は507万7,000円です。これは、わらべ館の駐車場、それから管理棟・トイレ、こういったところの維持管理に要する経費、業者委託によるものであります。

次のページ、8ページに入ります。一番上のところでは、同じく企画費の中の国際交流促進費の中の（国際交流員配置事業費）であります。予算額は1,143万7,000円です。これは、国際交流員3名、具体的に言いますと、英語・ドイツ語担当、それから中国語、中国担当、それから韓国担当、この3名の配置に要する経費であります。内訳としては、報酬あるいは共済費等ということになります。

続きまして、その下のほうの青い部分です。同じく企画費の中の国際交流プラザ運営費の中の（国際交流プラザ管理運営費）になります。予算額は641万7,000円です。これは、国際交流プラザの運営に要する経費、具体的に言いますと、嘱託の報酬、失礼しました、会計年度任用職員の報酬、あるいは共済費、あるいは各種講座講師謝金、あるいはイベント委託、こういったものに要する経費になります。

続きまして、その下の青い部分です。同じく企画費の中の学習・交流センター施設管理費の中の（学習・交流センター施設管理費）です。予算額は4,066万9,000円です。これは、学習・交流センター鳥取の維持管理費に要する経費、具体的に言いますと、修繕、あるいは光熱水費、清掃委託、警備委託、保守点検委託、こういった部分に要する経費、それから、先ほども少し説明はさせていただきましたが、修繕、特に空調更新、これに係る経費となっております。以上です。

◆吉野恭介分科会長 山根課長。

○山根寿彦情報政策課長 はい。では、続きまして、資料のほうは9ページのほうへお進みください。9ページの上から2段目です。有線テレビジョン放送施設管理費の（超高速情報通信基盤整備事業費）といたしまして、4億7,552万8,000円を計上しております。事業別概要は60ページの上段になります。具体的な事業につきましては、ちょっと別の資料を用意しておりますので、ちょっと13ページ、一番最後をちょっと御覧いただけたらと思います。これは、現在進めております、本市が所有するケーブルテレビ網の耐災害性強化、それと老朽化・高速化に向けた超高速情報通信基盤整備事業の一環といたしまして、令和4年度は、ケーブルテレビ放送設備の光ファイバー化に係る経費等を行うものでございます。

事業、事業実施地域ですけれども、ちょっと先ほど分かりにくいというお話もありましたので、ちょっとここをしっかりと説明させていただきたいんですが、表の、左下のマトリクス表をちょっと御覧いただけたらと思いますが、枠が囲ってあるところとで、すみません、枠が囲ってないところの状況につきましては、各地域と、それと、5つの横軸には5つの工事業種、ここが全て丸になるというのが最終形でございます。その中の令和3年度末の状況というのが、枠で囲ってないところの幹線・通信・放送という辺りが、今こういう状況まで工事が進んでおるといってございまして、その中の、このたび令和4年の工事でございますが、これが、枠で囲ってある部分でございます、福部・用瀬・佐治・鹿野・青谷につきましては、その放送設備というものを新たに入れていきます。さらに、すみません、その右側の引込工事というのがありますが、ここの国府から明治にかけまして、ここの、赤枠のところの引込工事ですが、これは、インターネットのお申込み、早いインターネットを使われたいというお申込みをいただいた方に対して、引込工事を行うための費用というものを計上させていただいております。

この財源ですけれども、このたびの事業には、国庫補助事業が当たらないため、このたびは過疎債とか地域活性化事業債の地方債であるとか、その他財源といたしまして、公共施設等整備基金から繰入れのほうを行いまして、事業を実施していきたいというふうに思っております。

ちなみに、すみません、先ほどのマトリクス表のところ、気高エリアが米印になっておると思いますが、これにつきましては、さきの1月補正で計上いただきました事業という中で、一体的に整備をしていこうと思っておりますので、令和4年度中には、この気高とこの赤枠のところが終わるといって御理解のほうをいただけたらと思います。説明は以上でございます。

○福山博俊文化交流課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 福山課長。

○福山博俊文化交流課長 はい。文化交流課、福山です。そうしますと、その下になります。総務管理費、企画費の中の城下町とっとりまちづくり推進事業、この中の（歴史的建造物保存活用事業費）であります。予算額は1,264万7,000円です。これは、城下町とっとり交流館、元大工町の高砂屋です、大工町の高砂屋です。これの管理運営に要する経費、指定管理料になります。指定管理者は鳥取市文化財団です。それと、あと、この敷地の借地料、そういったところが内訳になります。以上です。

○渡邊大輔企画推進部次長兼政策企画課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 渡邊次長。

○渡邊大輔企画推進部次長兼政策企画課長 はい。そうしましたら、その下でございます。青い欄でございます。45 公立大学法人運営事業費でございます。（環境大学運営費交付金）でございます。事業別概要は53 ページ上段でございます。5億3,367万4,000円をお願いするものです。県と2分の1の事業ということになりますので、県と合わせますと、10億6,734万8,000円ということになります。公立鳥取環境大学の運営費に必要な経費の一部について、県と市とで2分の1ずつ交付する鳥取市分でございます。事業費の内訳には、大学の運営費交付金、それから大規模修繕費補助金と、大きく2つに分かれております。運営費交付金は、大学の適切

な運営に必要となる支出額から授業料、それから、そういったものの収入額を差引きして、不足分を交付するものでございますし、この交付金の中には、令和2年度から始まっております修学支援新制度分、そういったものも含まれております。また、大規模修繕費補助金でございますが、令和4年度におきましては、情報メディアセンターほか、情報、及び、失礼しました、情報メディアセンター及び実験棟、実験研究棟、高圧ケーブルの更新工事、そういったもののほか6事業が予定をされておるものでございます。以上でございます。

○山根寿彦情報政策課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 山根課長。

○山根寿彦情報政策課長 はい。続きまして、電算処理費になります。資料のほうは、次のページの10ページのほうを御覧ください。はい。10ページの上から2つ目です。住民情報システム管理費の（電子計算組織運用費）といたしまして、659万2,000円の計上をしております。これは、大型プリンターの印刷費であるとか、帳票印刷に伴う消耗品費、それとデータ入力委託業務などを計上しているものでございます。令和4年度に減額している要素でございますけれども、これにつきましては、データ入力、パンチデータという外部に委託をしている業務がございますが、それに伴う予算を各課計上に切り替えたことによりまして、情報政策課の予算としては減額となったというものでございます。

続きまして、ちょっと丸がついておりませんが、ちょっと1点補足で説明させていただきまします。同じく10ページの下から2つ目（鳥取県自治体ICT共同化推進協議会事業費）でございます。これは、先ほど2月補正のところで御質問ありました、AI-OCRの関係の機器の納入に係る予算は、今予定しておりますのは、この県の協議会で共同利用するという方向で、今検討を進めさせていただいておりまして、それに伴う予算というのを、ここに計上させていただいております。

続きまして、その下の（自治体行政スマート事業推進費）でございます。2,810万9,000円を計上させていただいております。事業別概要は61ページの上段になります。この事業は、次世代情報システムの人工知能でありますAIであるとか、定型業務の自動化するシステムであるRPAなどのICT技術を活用し、行政事務の効率化や市民サービスの向上につなげるための事業費を計上させていただいております。令和4年度には、これらの運用費用に加えまして、子育て・介護などの主要26手続について、マイナポータル経由で受け付けた電子申請情報を、住民情報システムに、職員の人手を介さずに取り込むための仕組みを構築を考慮しておりまして、これに伴う経費として、新たに2,166万円を計上しております。財源といたしましては、先ほど説明しました国庫補助金が2分の1充たることになっております。説明は以上です。

○福山博俊文化交流課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 福山課長。

○福山博俊文化交流課長 はい。文化交流課、福山です。続きまして、11ページに入ります。11ページの中ほどの青い部分です。教育費の中の社会教育費、文化振興費であります。予算額は771万5,000円です。これは、将来の文化芸術振興の担い手育成等を目的とした演奏会等の開催、あるいは文化団体育成のための活動補助、あるいは施設使用料減免、こういったことに要

する経費となっております。

それから、その下であります。同じく（文化芸術推進事業補助金）であります。予算額は839万5,000円です。これは、自主的な文化芸術活動の促進による文化芸術の振興のため、文化芸術活動団体が実施する各種事業に要する経費に補助、各種事業に対する補助に要する経費であります。

続きまして、その下です。社会教育費の中の文化振興費の中の（麒麟のまち鳥取市美術展開催費）であります。予算額は363万1,000円です。これは、今年5月に予定しております第61回麒麟のまち鳥取市美術展の開催に要する経費となっております。なお、鳥取市美術展については、前回の、昨年（令和3年）の第60回記念展がありました。ここを契機に、応募できる資格対象を、鳥取県東部から麒麟のまち圏域、新温泉町さん・香美町さんを加えて拡大をしまして、新たに麒麟のまち鳥取市美術展と名称も改称をして行っておるものであります。

それから、はぐっていただきまして、12ページになります。最後になります。社会教育費の中の市民会館管理費の中の施設管理費の中の（市民会館施設管理費）であります。予算額は4,218万円です。これは、市民会館の管理・運営に要する経費、指定管理料になります。指定管理者は、鳥取市教育福祉振興会であります。

以上で、令和4年度企画推進部当初予算の説明を終わらせていただきます。

◆吉野恭介分科会長 はい。ありがとうございました。

本日は説明のみとなっておりますが、委員の皆さんで、聞き取りにくかった点や字句の確認等はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆吉野恭介分科会長 はい。なしと認めます。

それでは、予算審査特別委員会総務企画分科会を終了いたします。企画推進部の皆さん、大変お疲れさまでした。

委員の皆様、大変お疲れさまでした。暫時休憩にいたします。再開は1時20分にしましょうか。はい。

総務企画委員会に切替え 午後0時15分 休憩

予算審査特別委員会総務企画分科会に切替え 午後2時54分 再開

【市民生活部】

◆吉野恭介分科会長 総務企画委員会を終了し、予算審査特別委員会総務企画分科会を開催いたします。切替えをお願いいたします。

議案第5号令和4年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分（説明）

◆吉野恭介分科会長 はい。それでは、議案第5号令和4年度鳥取市一般会計予算のうち、本委員会の所管に属する部分について、御説明を簡潔にお願いいたします。

○大島義典市民生活部次長兼市民総合相談課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 大島次長。

○大島義典市民生活部次長兼市民総合相談課長 はい。市民総合相談課、大島でございます。そうしますと、令和4年度一般会計当初予算につきまして、所管部分について御説明いたします。説明につきましては、お手元の資料3、予算審査特別委員会総務企画分科会説明資料及び事業別概要の冊子によりまして、順に各担当課より御説明させていただきます。説明項目につきましては、基本としまして、主立った事業、説明資料の各ページ右の欄外に丸印をつけておりますので、その項目について御説明いたします。

それでは、資料3ページ、総務費の総務管理費、01一般管理費の07対話行政費のうち、（広聴機能充実費）です。事業別概要はございません。予算額は376万4,000円です。市政提案や陳情要望、地区要望等の各種広聴事業に寄せられる御意見等を、市民の声システムというシステムでデータベース化し、進捗等を総合管理しております。主に、システムの年間利用料とシステムの運用に要する経費を計上しております。

その下、08市民相談費です。事業別概要はございません。1項目め、（市民相談費）としております。予算額は350万8,000円です。窓口業務や電話対応など、市民相談業務に関わる会計年度任用職員1名分の人件費、及び、毎月4回開催しております弁護士無料相談を、県弁護士会へ委託する委託料が主な内訳です。

その下、（くらし110番相談事業費）、316万4,000円です。市民の皆様の日常生活におけるトラブルや困り事等の御相談に対して、専門相談員を配置するための事業委託費です。近年は、年間800件～900件程度の相談に対応しておりまして、助言や適切な窓口等への案内などを行っております。

続きまして、資料4ページです。一番上、18消費生活対策費です。事業別概要は70ページ下段です。消費生活センターを開設して、消費生活に関するトラブルの解決に向け、相談者の助言や、関係者間のあっせんを行っておりますとともに、消費者教育推進計画に基づいて、消費者教育や啓発に取り組んでいるところでございます。予算額は1,286万9,000円で、内訳は、消費生活相談員3名分の人件費約950万円、消費者教育・啓発のための講演会やイベント等の経費約150万円、消費者被害防止のための寸劇開催やリーフレット作成、それから、通話機能付電話購入補助などの経費など、約90万円などが主なものとなっております。特定財源のうち、国・県支出金236万9,000円は、啓発事業や被害防止に関わる事業等の財源として、鳥取県消費者行政強化交付金を充当しております。また、その他財源の22万3,000円は、金銭教育講座等の開催に関わる金融広報委員会推奨事業助成金でございます。

続けて、その下の22市民サービス費です。事業別概要は71ページ上段になります。（コールセンター設置運営費）で、予算額は4,926万5,000円で、令和元年9月に開設した鳥取市コールセンターの運營業務委託料です。市民からの電話等によるお問合せに対しまして、FAQや市のウェブページなどを基に、一次応答及び電話交換業務を行っております。今年度は、12月末までに5万1,854件の入電がありまして、コールセンターでの応答件数は5万318件となっております。このうち32.3%は、コールセンターにより回答を完結しております。新規事業や入電件数が特に増加するようなことが想定されるような場合や、実際に同じような問合せが増

加しているような状況であれば、担当部署とFAQや市のウェブページの見直しなどについて協議を行って、迅速・的確に電話対応ができるように努めておるところですけれども、今後も臨機応変に状況を捉えて、状況変化を捉えて、コールセンターの円滑な運営につなげていきたいと考えております。

○西垣隆司市民課長 はい、委員長。

◆吉野恭介分科会長 西垣課長。

○西垣隆司市民課長 はい。続きまして、総合窓口管理事務費でございます。予算額は8,798万4,000円、財源内訳は全額一般財源です。事業の内容につきましては、事業別概要71ページ下段の総合窓口管理事務費を御覧ください。事業の概要ですが、各種証明書発行業務などの市民総合窓口業務及び総合案内業務の業務委託に関する経費と、市民総合窓口、福祉総合窓口、税総合窓口の3つの総合窓口において、受付・呼出し情報などを管理している受付番号発券システムの運用管理に関する経費となっております。市民総合窓口は、令和3年度から3年間の契約で民間委託を行っており、今年度が最終年度です。令和4年度からは、契約期間を3年とする新たな業務委託契約を締結しており、令和6年度まで民間委託を行うこととしております。以上でございます。

○漆原利明市民生活部次長兼地域振興課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 漆原次長。

○漆原利明市民生活部次長兼地域振興課長 はい。その下の07企画費、01総合企画費、地域振興課担当の（人材誘致・定住促進対策事業費）です。移住定住の促進に要する経費でございます。予算の事業別概要につきましては、62ページの上段でございます。これは、移住定住に関する各種相談員等の人件費、それから、ふるさと鳥取市の回帰戦略連絡事業、それから、連携中枢都市圏による移住の取組を促進させるものでございます。前年対比マイナス100万4,000円になっておりますが、これは、移住定住関連の支援補助金の精査・廃止等を行ったものでございます。今年度につきましては、新たな移住定住専用ポータルサイトを、本年度に新たに開設する予定でございますけれども、これを活用して、積極的に情報発信をしていこうと考えております。財源内訳の国・県支出金でございますけれども、国、地方創生推進交付金が297万9,000円、県支出金が865万3,000円、それから、その他財源の2,078万1,000円がふるさと納税基金繰入金、その他財源の諸収入は、お試し定住体験施設体験料が30万円となっております。

その3段下でございます。同じく、地域振興対策費の（輝く中山間地域創出事業費）でございます。事業別概要は62ページの下段でございます。輝く中山間地域創出事業ということで、平成22度に、輝く中山間地域創出モデル事業を創設いたしました。これが大変地域に活力を与える事業ということで、補助事業でございますけれども、年々各種取組が展開されているところでございます。今年度につきましては、来年度につきましては、福部駅のデザインをしたり、それから、吉岡温泉での箕上山の登山道のトレイルロード整備、こういったものをしっかり展開していこうと思っております。令和4年度の事業の見込みでございますけれども、一応、計画策定を2件、ソフト事業6件、里山交流事業を2件というような形で現在計画しておると

ころでございます。財源の内訳でございます。国・県支出金 67 万 1,000 円は、これは県の支出金でございます。地方債の 180 万は、これは過疎対策事業債でございます。その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金の繰入金でございます。

また、その下でございます、一番最後です。4 ページの一番最後でございます。（過疎地域振興事業費）でございます。予算額は 332 万円でございます。事業別概要が 63 ページの上段でございます。過疎地域振興事業費でございます。こちらは、とっとりふるさとリーダーアカデミーの委託事業でございます。ふるさとリーダーアカデミーは、平成 23 年度より 9 年間実施いたしました、とっとりふるさと元気塾を発展的解消いたしましたして、新たに、ふるさとリーダーアカデミー事業として取り組んでいるところでございます。来年度につきましては、オンラインでの先進地研修を開催いたしましたり、連携中枢都市圏との、地域団体等の取組を積極的にやっっていこうと考えております。財源の内訳でございます。国・県支出金の 150 万でございますけれども、こちらは、国、地方創生推進交付金となっております。

次のページでございます。5 ページでございます。新市域、中ほどにあります新市域特別振興費でございます。（地域おこし協力隊定住・定着支援事業）でございます。地域おこし協力隊の起業や定住に対する支援に要する経費でございます。事業別概要は 65 ページの下段でございます。平成 26 年度より、地域おこし協力隊を鳥取市のほうに導入いたしましたして、現在のところ、3 年の任期を終了した隊員の 14 名のうち 9 名が、引き続き本市内に定住して活躍していただいております。今年度は、任期終了するものが約 3 名おります。そのうち 1 名が、起業、起業をしたいというような形で考えておりまして、その起業支援に対する補助金です。財源内訳は 250 万 6,000 円ということでございます。一般財源で対応するものでございます。以上でございます。

○谷口恭子協働推進課長 はい。

◆吉野恭介分科会長 谷口課長。

○谷口恭子協働推進課長 はい。協働推進課、谷口でございます。資料は 6 ページ中ほどの（コミュニティ支援事業費）2,936 万 3,000 円のものでございます。事業別概要は 68 ページの上段でございます。まち協の取組に対する助成を行うための補助金でございます。補助メニューは、事業別概要の（2）に書いてあるとおりでございますして、去年の予算額と比べて増額となっている部分だけ補足をさせていただきます。前年度の予算額に比べまして 31 万 8,000 円増額となっております。これは、一括交付金に取り組む地区が 4 地区増えました。この一括交付金の中身は、公民館が特例で執行してございました事務費、消耗品や印刷製本費、1 館当たり約 8 万円が含まれておりまして、これを一括交付金に含めたため、8 万円の 4 地区ということで、31 万 8,000 円増額をするものでございます。

続きまして、次のページの 7 ページの上から 2 番目、ボランティアセンター委託費でございます。こちら、昨年度と比べて少し増減をしております、94 万 2,000 円ですね、すみません、94 万 2,000 円増減をしているところでございます。こちらは、人件費に伴う増額でございますして、所長さんが人事異動に伴いまして少し給与額が上がっております。また、所長さんがファミリー・サポート・センターを兼務していることから、関係する単価で案分をすることと

いたしました。その部分の増額でございます。ボランティアセンターの取組といたしましては、令和4年度は、協働のまちづくりガイドラインに基づきまして、市政運営の課題解決に市と協働で取り組むテーマ・コミュニティの助成、補助制度を充実することとしております。これまで、センター内でも団体同士の交流会、取組発表などを行っておられますが、これらの機会を捉えまして、市の行政課題についても共有を図り、協働事例を構築していきたいと考えているところでございます。以上でございます。

○西垣隆司市民課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 西垣課長。

○西垣隆司市民課長 続きまして8ページ、8ページ目の中段、中段を御覧ください。8ページ目中段、個人番号カード関連事務費でございます。予算額は6,609万5,000円、財源内訳は、国費が6,500万1,000円、こちらは、社会保障・税番号制度システム整備費補助金でございます。残りが、一般財源が109万4,000円です。事業の内容につきましては、事業別概要、こちら、72ページになります。事業別概要72ページ下段の個人番号カード関連事務費を御覧ください。事業の概要ですが、現在市民課では、マイナンバーカードの取得促進に取り組んでおり、本事業は、人件費、機器のリース料、郵便代など、マイナンバーカードの交付事務に関する経費となっております。なお、令和4年度当初予算は、前年度当初予算から大きな減額となっております。これは、昨年度まで、マイナンバーカードに関する事務を委託しています地方公共団体情報システム機構、通称J-LISと呼んでおりますが、こちらのほうへ国から補助金の交付を受け、その補助金をそのままカード発行等に要した経費として、J-LISへ負担金として支払っていました。これが、今後は、国が直接J-LISに市町村の負担金を支払うことになりましたので、その額が減額となったものでございます。なお、昨年度は、当初予算でJ-LISへの負担金として1億3,400万円ほど計上しておりました。以上でございます。

○上田光徳廃棄物対策課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 上田課長。

○上田光徳廃棄物対策課長 廃棄物対策課、上田です。それでは、資料の9ページの下、下段でございます。19番、産業廃棄物対策費の中の丸印が2つしてありますが、下から4段目、（不法投棄産業廃棄物代執行対策事業費）として500万円、そして、下から2つ目、（PCB廃棄物処理対策推進事業費）、同じく500万円を予算化をしているものでございます。これにつきましては、それぞれ産業廃棄物の不法投棄、あるいはPCBの処理につきまして、不適正処理等が発覚し、市民生活に重大な影響が、影響があるおそれが、そうしたおそれがあるという場合に対しまして、鳥取市が行政代執行をして、その処理を行うというものを予算化しているものであります。これは、例年どおり、それぞれ500万ずつ予算のほうを計上しているものでございます。

続きまして、はぐっていただきまして、少し飛びますが11ページ、11ページ、資料の11ページの中ほどであります。ごみの減量化及び再資源化対策費でございます。まず、（ごみの減量化及び再資源化対策費）としまして、1,260万円を予算化しているものでございます。事業別概要はございませんが、これにつきましては、古紙等の再資源化の推進事業ということで、

資源回収等に関わる奨励金を、前年度の予算に準じて予算化をしているものでございます。

その下であります、(家庭ごみ有料化事業)でございます。予算は1億486万5,000円でございます。これにつきましては、事業別概要書の77ページの下段のほうに詳細を記載しております。家庭ごみの有料指定袋の作製に係る費用、並びに、各それぞれ販売店等で販売を行っていただく場合の手数料、さらには、分別ガイドやポスター等の配布資料の作成費等を計上するものでございます。前年度に倣って予算を上げておりますが、今年度は、分別ガイド、各家庭に配布する分別ガイドを全戸配布をするという予定にしております、この部分を511万5,000円予算化しておりますので、前年度対比しますと、少しその分が400万程度増額になっているものでございます。

続きまして、同じ資料の11ページの一番下であります、(ごみ収集委託費)でございます。事業別概要は79ページの上段でございます。ごみ収集委託費でございますが、これは、各家庭から出されるごみ、可燃ごみ等々をステーション収集をする部分の収集に係る費用でございます。予算としましては、10億3,515万9,000円を計上しております。前年度と比較しますと、5,300万余り増額という形になっております。これにつきましては、本年の4月から、神谷清掃工場から国英地区のリンピアいなばのほうに焼却場が移転になるということに伴って、一部収集車両等の増額、増車と収集員の増員、これを令和3年度から行っているところでありますが、令和3年度は3か月分を計上しておりますが、これが1年分、4月1日から、ごみの全量をリンピアで処理をするという形になりますので、増車分、それから増員分等の経費を増額しております。また、全ての収集委託業者に関連する部分であります、収集車両の燃料代、かなり燃料代が高騰しているということで、これも現状の燃料代を加味した計算でしておりますので、前年対比で5,300万余り増額という形になっております。

それから、はぐっていただきまして、資料の12ページでございます。資料12ページの中ほどであります、05の東部広域行政管理組合負担金(塵芥)であります。資料につきましては、80ページの上段に、可燃物処理施設の建設に係る負担金、同じく、事業別概要の80ページの下段に、今度は可燃物処理施設の管理運営に係る負担金ということで、2つ予算を計上しております。建設に係る予算につきましては13億2,967万8,000円、これが、建設が、本稼働が令和4年度からという形になりますので、建設に係る負担金は、この令和4年度が最終という形になります。そして、令和4年度から新たに発生をします負担金が、その事業別概要書の79ページの下段にあります施設の管理運営の負担金でございます。4月から稼働をして、ごみを全量受け入れるわけですが、7月1日から本稼働という形になりますので、市町の負担金が生じるのは、7月以降の9か月分という計算になります。その負担の割合ですが、国勢調査の人口割が20%、そして、前々年度、この前々年度というのは、神谷で、神谷清掃工場で焼却した分になるわけですが、前々年度の可燃物の処理の実績によるものが80%という割合でございます、これは、不燃物の処理、リファーレンいなばのほうで行っている不燃物処理の負担金と同じ割合で計算をすることと定められております。予算につきましては、先ほど申し上げましたように、管理運営が2億2,127万2,000円ということで計上をさせていただいております。以上です。

○谷口恭子協働推進課長 はい。

◆吉野恭介分科会長 谷口課長。

○谷口恭子協働推進課長 はい。協働推進課、谷口でございます。14ページ上から2つ、地区公民館施設管理費について御説明申し上げます。まず、（地区公民館施設管理費）、1億1,735万8,000円を計上しております。これは、前年比738万7,000円増額しておりますので、その増加の要因について御説明したいと思います。

まず1つが、大村地区の公民館の空調整備費243万円でございます。それから、廃棄物の収集委託費、これが、可燃物処理場が移転に伴いまして、増額300万を計上しております。そのほかOA機器借り上げ料、こちら、実績に基づきまして100万程度の増、それから、車椅子の更新、配置をしたいと思いますので、備品購入費、こちら二十数万円を増額しているものでございます。特定財源は、過疎債、大村地区の空調整備243万のうち、240万は過疎債を充当したいと思います。その他、その他財源でございます。その他財源1,938万6,000円の内訳でございます。基金の繰入金、公共施設等整備基金繰入金が1,060万円、複合施設であります谷地区、城北地区の事業者負担金など780万、残りは地区公民館施設内での行政財産使用料、自販機の電気使用料の収入を充てたいと考えております。

続きまして、（地区公民館改修等事業費）でございます。令和4年度は、谷地区の空調整備第2期、湖南地区公民館の修繕、それから、旧成器地区の解体、駐車場整備工事を行いたいと思っております。先ほど、谷地区の空調整備費のことにつきまして、すみません、いただきました、いろいろ御指導いただいたところでございますが、去年の実績額相当、工事請負費4,399万円を見込んでいるところでございます。旧成器地区の工事請負費は3,347万円、それから旧成器地区のバス停を、公民館を建てたときに一旦取壊しをしております、その復旧費として261万2,000円を予定しております。解体廃棄物の処分料とともに、この中には上げている分でございます。それから、修繕費としては2件、湖南地区の外壁等の屋根修繕が730万円、それから、最後に湖南地区の分館であります大郷会館のキュービクル、こちらは、すみません、事業別概要を申し上げておりませんでした、70ページの上段に書いてあります。キュービクルは高圧受電設備でございますが、こちらの修繕費550万を計上しているものでございます。以上でございます。

○九鬼栄一河原町総合支所長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、九鬼河原町総合支所長。

○九鬼栄一河原町総合支所長 はい。河原総合支所の九鬼でございます。ここからは、総合支所関連の予算というふうになります。17ページ、上から5番目になります。（地域おこし協力隊事業費）です。予算書は172ページ、事業別概要書は233ページ上段でございます。総務費、総務管理費、企画費、新市域特別振興費、（地域おこし協力隊事業費）といたしまして、河原町西郷地区に地域おこし協力隊1名を配置するための経費343万7,000円を予算計上させていただいております。河原町西郷地区が、西郷工芸の郷構想の下に行っている、西郷をものづくりの郷にするための活動や、様々な取組を支援し、この取組や魅力を、より広範囲に発信することを目的といたしまして、令和2年2月に地域おこし協力隊員1名が着任し、活動を行っており

ます。令和4年度は、最終年度として、令和5年1月末までの活動となりますが、引き続き、地域の魅力を県内外に発信しながら、地区外の訪問者の増加を図り、そこから、工芸作家等の移住定住につなげていきたいと考えております。新年度の配置経費の主なものといたしましては、人件費、それから民藝夏期学校に参加するための旅費、それから住居の借り上げ料、公用車のリース料等でございます。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 三谷気高町総合支所長。

○三谷裕之気高町総合支所長 はい。気高町総合支所、三谷でございます。上から8つ目ですね、先ほどの説明から3つ下ですけれども、（小さな拠点整備事業）でございます。予算額 357 万 6,000 円、事業別概要は 237 ページの上段になります。浜村地区では、令和2年度から、小さな拠点事業を活用して、地域活性化の取組を進めておりまして、令和2年度にはランドデザイン、令和3年度には、現在実施計画を策定しているところでございます。令和4年度から実行に移すこととしておりまして、市道の既存の植栽場所を活用した樹木等植物の植栽の実施、空き家バンクの立ち上げ、高齢者が活躍できる人材センター組織の立ち上げ、また、地区内の新泉集落、新泉会といたしますけれども、新泉集落を主体に、共同浴場の一般開放に向けた施設改修等について予算計上させていただきました。一方、逢坂地区でございますけれども、小学校の統合を見据えまして、校舎の有効活用と地域課題の解決に向けた新しい地区運営の仕組みづくりに取り組むこととしておりまして、人件費や備品購入費、先進地視察旅費等を予算計上させていただいております。以上です。

○九鬼栄一河原町総合支所長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、九鬼河原町総合支所長。

○九鬼栄一河原町総合支所長 河原町総合支所の九鬼でございます。続いて、18 ページの中段になります。商工費、観光費、観光キャンペーン事業費、（あゆ祭補助金）でございます。予算書は 248 ページ、事業別概要は 234 ページ上段でございます。河原町、夏の風物詩といたしまして定着しておりますあゆ祭ですけれども、来年で 41 回を迎えようとしております。これの実施に係る補助金といたしまして、514 万 5,000 円を計上させていただいております。実施主体でありますあゆ祭実行委員会に対して、ステージイベントやアユのつかみ取り、会場警備、それからポスター・チラシ等、この制作に要する経費の一部を支援させていただくものです。本年度は昨年度同様、新型コロナウイルス感染症への感染防止のため、中止とさせていただきました。来年度こそは、通常どおり盛大に開催できるよう、8月6日土曜日、開催予定で準備を進めていくと伺っております。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 片山用瀬町総合支所長。

○片山 学用瀬町総合支所長 用瀬町総合支所長の片山でございます。一段下の（ジゲおこし事業費）でございます。事業別概要は 234 ページの下段になります。事業別概要で御説明申し上げますので、そちらをお開きいただけたらと思います。234 ページ下段でございます。そちらのほうの事業の概要の中段の事業の目的及び効果になりますが、用瀬町の地域資源であります千代川や用瀬山系を活用したイベント、具体的には下段に書いておりますが、ふれあいフェスティバル、用瀬山系トレイル交流大会、川遊びフェスティバル、用瀬宿横丁さんぽ市、こちら

のほうの4種になりますが、地域の活性化や関係人口の創出拡大を図ることを目的に、ボランティアの委員で構成する用瀬町ジゲおこし実行委員会が開催するイベントに対する支援経費でございまして、165万4,000円を計上しております。以上でございます。

○見生孝行青谷町総合支所長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 見生青谷町総合支所長。

○見生孝行青谷町総合支所長 はい。青谷町総合支所、見生でございます。続きまして18ページ、下から2段目でございます。（青谷地域にぎわい創出事業補助金）でございます。予算書のほうは248ページ、事業別概要は241ページ上段となっておりますので御覧ください。青谷地域にぎわい創出事業補助金285万円によりまして、青谷地域にぎわい創出事業実行委員会が取り組みます、地域づくり活動を支援するものでございます。主な内訳といたしましては、青谷因州和紙産地強化事業では、因州青谷こうぞ紙手すき和紙保存会と日置地区まちづくり協議会等によります因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭、また、和紙の原料となりますコウゾや粘剤、これは和紙の繊維をつなぐ素材になるものですが、トロロアオイの栽培、また、技術研修等の開催等によりまして、手すき和紙技術の継承、探求力強化の取組に対して121万円。それから、青谷ようこそ市場、通称あおいちと呼んでおりますイベントの開催事業として、7月～9月までの間に3回、地域の産品等を販売、PRするイベント開催により、まちなかのにぎわいの創出を目的とする取組に114万9,000円。また、青谷上寺地遺跡を利活用して、青谷かみじち遺跡まつり、あるいは、史跡公園の利活用を考えるワークショップの開催、また、引き続きボランティアガイドの養成等に取り組むための費用として49万6,000円など、地域の魅力ある資源を生かした活動を後押しして、にぎわい創出につなげていきたいと考えております。本事業につきましては、その他財源として、ふるさと納税基金繰入金73万3,000円を充当させていただいております。以上です。

○岡本幸子鹿野町総合支所長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、岡本鹿野町総合支所長。

○岡本幸子鹿野町総合支所長 はい。鹿野町総合支所の岡本です。説明資料21ページ上から、失礼しました、説明資料19ページの下から2段目です。大変失礼しました。公園管理費の（鹿野城跡公園管理費）でございます。事業別概要は240ページの上段です。本市の史跡に指定され、市民の憩いの場となっております鹿野城跡の公園でございます。面積は3.6ヘクタールでございますが、こちらにあります桜やクロマツなどの樹木管理ですとか、草刈り、剪定、トイレ清掃や照明などの日常的にかかる維持管理費や費用に対しまして、368万1,000円を計上させていただいております。以上です。

○湯谷一也国府町総合支所長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 湯谷国府町総合支所長。

○湯谷一也国府町総合支所長 はい。国府町総合支所の湯谷でございます。めくっていただいて20ページを御覧いただきたいと思っております。文化振興費になりますが、下から2番目の（万葉フェスティバル開催事業費）でございます。大伴家持大賞の短歌募集等に要する経費として330万を計上しております。そして、特定財源として、市町村創生交付金66万円を充当してござい

ます。事業別概要書は231ページ上段となります。国府地域におきましては、大伴家持が万葉集の最後を飾る歌を詠んだという地であることから、万葉のふるさとをテーマとしたまちづくりを進めておるところでございます。平成6年の因幡万葉歴史館の開館を契機としてスタートいたしました、大伴家持大賞短歌募集事業につきましては、来年度で28回を数えます。この間、短歌愛好家を中心に広く認知され、毎年全国各地から多くの作品が寄せられるとともに、選者の先生方からは、そのレベルの高さを評価をいただいております。この2年間、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けまして、記念講演会などが実施できておりませんが、令和4年度には、大友家持ゆかりの地を巡ります令和の万葉大茶会、文化庁の事業でございますが、宇倍神社と因幡万葉歴史館を舞台として、開催が予定されていると伺っておりまして、万葉集に対する関心が高まるが大いに期待されるところでございます。こうした機会を捉えまして、この大伴家持大賞短歌募集、並びに万葉集朗唱の会に、万葉にまつわる事業を実施いたしますことで、万葉のふるさと鳥取市を、全国に向けて強力に発信してまいりたいと考えておるところでございます。以上です。

○岡本幸子鹿野町総合支所長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 岡本支所長。

○岡本幸子鹿野町総合支所長 はい。鹿野町総合支所、岡本でございます。説明資料21ページ、上から3番目、事業別概要は239ページの下段でございます（町民音楽祭開催費）320万円でございます。これは、鹿野町民音楽祭実行委員会が主体となって昭和62年から始まりまして、鹿野ふるさとミュージカルに係る補助金でございます。36回目となります令和4年度は、8月に、さくら姫物語を市民会館で上演される予定でございます。令和2年度、令和3年度と、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむなく中止されております。このミュージカルの制作期間は約半年間にも及びますけれども、幅広い年代の市民の方々が、演劇、楽器演奏、合奏、舞台芸術などの様々な分野で連携、交流しながら制作、上演されることによって、地域コミュニティの向上と新たな地域文化の創造にも貢献するものと考えております。その他の財源につきましては、ふるさと納税基金繰入金が25万7,000円充当することになっております。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 片山支所長。

○片山 学用瀬町総合支所長 用瀬町総合支所の片山でございます。4段下の（流しびなマラニック大会補助金）を御覧ください。コロナ禍以前には1,200人を超える参加を得て実施しておりましたが、コロナ禍、このコロナ禍を踏まえまして、参加者を東部地区在住者、参加定員を400名、種目を2種目と限定し、感染防止対策をしっかり講じて実施したいと考えており、その大会開催に対する支援経費として200万円を計上しております。なお、その他財源として、ふるさと納税基金繰入金として35万9,000円を充てております。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 平戸福部町総合支所長。

○平戸伊寿美福部町総合支所長 はい。福部町総合支所の平戸でございます。同じく、資料21ページ、今の下の35鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費でございます。予算書296ページで、概要調書が232ページ上段となっております。当初予算要求額として321万6,000円で、その

他財源 26 万 1,000 円は、ふるさと納税基金繰入金が充当されております。これは、鳥取砂丘らつきょう花マラソン大会を運営するための市の補助金でありまして、鳥取砂丘らつきょう花マラソン大会実行委員会へ交付されているものでございます。以上です。

◆吉野恭介分科会長 はい。説明をいただきました。

本日の委員会では、説明のみとなっております。委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認等はございますか。

◆吉野恭介分科会長 加嶋委員。

◆加嶋辰史分科員 いいですか。はい。すみません、70 ページから消費生活センターですけども、通話機能付電話というところですけど、録音機能付電話ということで、言い間違いではないかなと思うんですけども。

◆吉野恭介分科会長 加嶋委員、もう一度ページ数を言ってください。

◆加嶋辰史分科員 事業別概要書 70 ページ下段、消費生活対策費のところですけども、消費者被害防止事業の説明の中で、通話機能付電話の購入費というところですけど、ここは録音機能付ということで、言い間違いか、語句の確認です。

◆吉野恭介分科会長 大島次長。

○大島義典市民生活部次長兼市民総合相談課長 はい。市民総合相談課、大島です。大変失礼いたしました。録音機能付電話購入補助であります。訂正させていただきます。

◆吉野恭介分科会長 はい。そのほかありますか。はい。なしと認めます。

議案第 11 号と 17 号につきましては、本日は致しません。2 月 28 日とさせていただきます。御承知おきください。

それでは、これで予算審査特別委員会総務企画分科会を終了いたします。皆様、大変お疲れさまでした。

() ありがとうございます。

午後 3 時 38 分 閉会

令和4年2月定例会

総務企画委員会・予算審査特別委員会総務企画分科会

日時：令和4年2月25日（金）

10:00～

場所：本庁舎7階全員協議会室

企画推進部

《総務企画委員会》

◎議案【先議分：説明・質疑・討論・採決】

議案第23号 令和3年度鳥取市一般会計補正予算（第15号）【所管に属する部分】

議案第62号 工事請負契約の変更について

◎報告

・関係人口増加に向けたサテライトキャンパスの誘致について（政策企画課）

・鳥取市デジタルトランスフォーメーション（DX）推進方針（第7版）（素案）について（政策企画課）

《予算審査特別委員会総務企画分科会》

◎議案【予算審査分：説明】

議案第5号 令和4年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

市民生活部

《総務企画委員会》

◎議案【先議分：説明・質疑・討論・採決】

議案第23号 令和3年度鳥取市一般会計補正予算（第15号）【所管に属する部分】

議案第29号 令和3年度鳥取市墓苑事業費特別会計補正予算（第1号）

議案第35号 令和3年度鳥取市電気事業費特別会計補正予算（第1号）

◎議案【先議分以外：説明】

議案第43号 鳥取市集会所の設置及び管理に関する条例の一部改正について

議案第56号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

議案第57号 鳥取市過疎地域持続的発展計画の変更について

議案第59号 財産の無償譲渡について

↓裏面があります↓

◎報告

- ・協働のまちづくりガイドラインの策定について（協働推進課）
- ・地域組織を支援する取組について（協働推進課）
- ・公共工事発生土受入候補地（美成計画地）の事業断念について（用瀬町総合支所）

《予算審査特別委員会総務企画分科会》

◎議案【予算審査分：説明】

議案第 5 号 令和 4 年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

議案第 11 号 令和 4 年度鳥取市墓苑事業費特別会計予算

議案第 17 号 令和 4 年度鳥取市電気事業費特別会計予算